

SECURITY TREND NEWS

◎ 超ワクワクする
◎ 未来を
◎ 実現する会社

Vol.
01
2026



IT TREND 2026

いま、そこにある危機。

- 大手2社を襲ったサイバー攻撃の衝撃
- 最新防衛線！ランサムウェアに打ち勝つ最新のバックアップ原則
- ディズニーキャラクターもAIで使える時代に！
- AI需要でメモリ価格が6倍に？！
- 2月オンラインセミナー【知識ゼロから始める！生成AIの基礎を徹底解説】

大手2社を襲ったサイバー攻撃の衝撃

あなたの情報も狙われた！大規模システム障害の深刻な実態

アサヒG HD

出荷停止で売上急落！決算発表も延期。
復旧は2026年まで長期化！
最大191.4万件の個人情報が流出の恐れ！



アスクル

4ヶ月間ものサイバー潜伏が発覚！
確認された流出件数 約74万件
未だに多くの業務が停止中



こうした事例からわかるのは、**攻撃の規模や潜伏期間が長く**、

企業にとって**復旧までの道のりが非常に厳しい**ということです。

そして、被害は単なるシステム障害にとどまらず、**事業そのものに大きな打撃**を与えます。

販売停止、物流の混乱、ブランドイメージの低下、そして顧客情報の流出による**信頼の失墜**。

これらは、**どの企業にとっても致命的なリスク**です。

最終防衛線！ランサムウェアに打ち勝つ 最新のバックアップ原則

バックアップの鉄則を強化！「3-2-1-1-0ルール」

従来の「3-2-1」ルールをさらに強化し、現代のサイバーモードやデータ保護要件に対応！

3	2	1	1	0
3つのコピー	2つの異なるメディアに保存	1つは遠隔地に保管	1つはエアギャップかイミュータブルで保管	復旧エラーゼロ (定期テスト必須)
まず、データのコピーを3つ作ります。	次に、それらを異なるメディアに保存します。	さらに、そのうち1つは遠隔地に保管します。	そしてもう1つは、ネットワークから切り離して保管するか、書き込んだ後に変更や削除ができない仕組みで保管。	最後に、定期的な復旧テストを行い、復旧エラーをゼロにすることを目指します。

ここで重要なのは、**バックアップがあるだけでは不十分**だということです。

復旧できなければ意味がありません。実際、バックアップデータがあっても、復元に失敗すれば事業は止まります。

だからこそ、**定期的な復旧テストを行い、ゼロエラーを目指すことが不可欠**です。

さらに、ネットワークから切り離した保管や、変更不可の仕組みを導入することで、攻撃者がバックアップデータを暗号化したり削除したりするリスクを防ぎます。これは、**ランサムウェアに対抗する“最後の砦”**です。

米国政府機関CISAもこのルールを推奨しており、**世界的に標準化が進んでいます**。

企業は、単なるバックアップではなく、**「復旧の確実性」**を重視した戦略にシフトする必要があります。



NEWS③

ディズニーキャラクターもAIで使える時代に！

～その裏で広がる“善と悪”～

ディズニー

OpenAIに10億ドルを出資し、200以上のキャラクターを「Sora」で利用可能にする方針を発表

“無断利用されるなら、正規に使える仕組みを”という戦略で、AIとコンテンツ産業の協業が加速しています。この動きは、ユーザーがディズニーキャラクターを使って動画やストーリーを作れるようになるということです。ただし、どこまで使用できるのか、使用許諾の範囲は気になるところです。

ディズニーは「ストーリーテリングを思慮深く、責任をもって拡張していく」と声明を出しており、著作権管理を重視する姿勢を示しています。

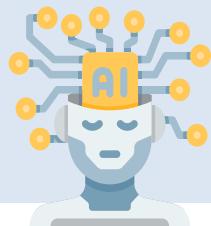


一方で、無料の「KawaiiGPT」がサイバー攻撃を民主化する危険性を指摘する声が出ています。

攻撃ツールが簡単に手に入る時代になれば、企業のセキュリティリスクはさらに高まります。こうした動きは、企業のマーケティングや顧客体験にも大きな影響を与えていきます。

生成AIを活用した動画や音楽制作は新しいビジネスチャンスを生みますが、著作権やセキュリティのリスク管理が不可欠です。

今後は「便利さ」と「安全性」の両立が企業の競争力を左右するでしょう。



NEWS④

AI需要でメモリ価格が6倍に？！

大量のメモリを消費するAIの爆発的な需要により、メモリ不足時代が到来

NVIDIA

コンシューマ向けGPUの新製品を延期、あるいは中止
→業務用高単価モデルにシフトする方針

AMD

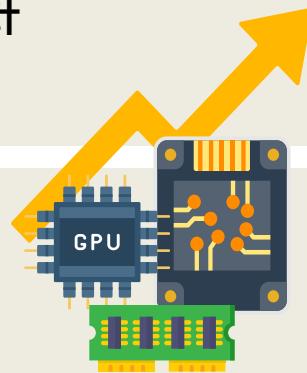
最低10%の値上げを発表

Micron

一般向けSSDやメモリ事業から撤退

SAMSUNG

単価の高いDRAMにシフト



DRAMもフラッシュメモリも値上げとなり、

PCだけでなく、スマートフォンやSDカード、さらにはIoT機器まで価格が上がる見込みです。

今後2年間は“メモリ不足時代”が続くと予測され、企業にとってITコストの増加は避けられません。

そのため、クラウドや仮想化によるリソース確保がますます重要になっています。

ハードウェア不足を補うための戦略を今から検討することが、

競争力維持の鍵となるでしょう。



知識ゼロから始める！ 生成AIの基礎を徹底解説



参加無料
事前登録制

セミナー概要

生成AIの基本から業務活用、注意すべきリスク、未来の可能性までを1時間でわかりやすく解説。「生成AIとは何か」「何ができるのか」「どんな事例があるのか」「どう取り組むべきか」といった疑問に答え、実践につながるヒントを提供します。本講演が、これから生成AI活用の一助となれば幸いです。

日時

2026年
2月18日(水)
14:00-15:00

- 定員:300名
- 対象:経営層・ご担当者様
- 申込締切:2026年2月13日(金)

■インターネット環境があれば自席で受講いただけます

<講師紹介>

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
情報通信システム本部 ITアーキテクト部
山崎 康平

クラウド開発のテックリードを経験し、顧客価値を起点にした製品戦略と仕様策定に従事。その後、技術とビジネス戦略の両面に精通する強みを活かし、キヤノンマーケティングジャパンに入社。現在は生成AIによる全社の業務効率化・高度化を推進する「生成AI事務局」を牽引

■セミナー申込サイト

キヤノンMJ セミナー

検索 



WEBサイト:<https://canon.jp/biz/event>

※お申込みの際に
【会社コード】の入力が必要です。
【会社コード】: **G02711**

■セミナー紹介動画

セミナーの概要を3分で一部ご紹介しています！



<https://youtu.be/xVyET5ZyP54>